

科目名	特別講義（情報検索概論）			担当教員	安藤一秋		
学年	4・5年	学期	夏期・集中	履修条件	選択	単位数	1
分野	専門	授業形式	講義・演習	科目番号	12I45_30550	単位区別	履修単位
学習目標	GoogleやYahooなどのWeb検索エンジンに代表される情報検索技術は、大規模な情報源から必要な情報を効率よく見つけ出すために必要不可欠である。本授業では、文書検索を中心に、情報検索の基本技術と代表的なアルゴリズム、関連・応用技術に関する基礎知識の習得を目標とする。						
進め方	授業はプロジェクトと板書を併用しながら進める。マルチメディア教材も活用する。期間中、数回の確認テストを実施し、学習状況を確認する。基本的なアルゴリズムをプログラミング演習で実装することで理解度を深める。演習課題はレポートとして提出してもらう。なお、プログラミングにはC言語を用いる。						
履修要件	特になし						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 情報検索概論(3) 2. プログラミング演習(3) Cプログラミング（特に文字列処理）の基礎演習 3. 索引語の抽出と重み付け(2) 4. プログラミング演習(4) 索引語の抽出、重み付け手法の実装 5. ベクトル空間モデルに基づく文書検索(2) 6. プログラミング演習(4) ベクトル空間モデルを利用したシンプルな検索プログラムの実装 7. 文字列照合に基づく全文検索(2) 8. プログラミング演習(4) 基本的な文字列照合アルゴリズムの実装 9. 索引を用いた全文検索(2) 10. 関連・応用技術・総括(1) 11. プログラミング演習・レポートの作成(3)			情報検索の定義、適用例、関連技術、評価尺度などの諸概念が説明できる。 D2:1 索引語の抽出法、重み付け法の概要を理解し、プログラムで実装できる。 D2:1-2, E3:3 ベクトル空間モデルの概要を理解し、単純なシステムをプログラムで実装できる。 D2:1-2, E3:3 文字列照合アルゴリズムの概要を理解し、単純な手法をプログラムで実装できる。 D2:1-2, E3:3 代表的な索引を用いた全文検索手法の概要を理解する。 D2:1 修得した知識を活かし、情報検索の関連・応用技術の概要を理解する。 D3:2			
評価方法	確認テスト30%とレポート70%の比率で総合評価する。						
関連科目	特になし						
教材	教科書なし。授業時に配布するプリントを利用する。 参考書：情報検索アルゴリズム 北研二、津田和彦、獅々堀正幹 共立出版						
備考	C言語やデータ構造とアルゴリズムに関する参考書を持参すること。						